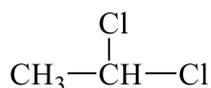
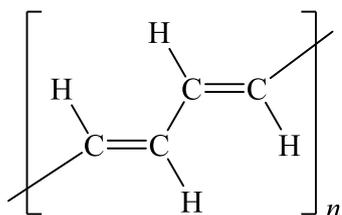




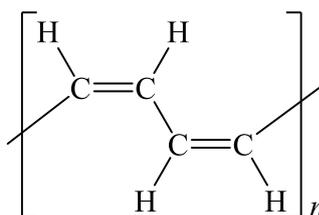
問5



問6 全トランス形ポリアセチレン



全シス形ポリアセチレン



[IV]

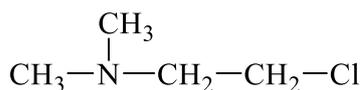
問1 ア：エーテル                      イ：縮合（又は脱水）                      ウ：ジエチルエーテル  
エ：エタノール                      オ：ジメチルエーテル                      カ：低い                      キ：C<sub>4</sub>H<sub>10</sub>NCl

問2 ・水に溶けにくく、水と分離する。                      ・揮発性が大きい  
・極性が小さく、多くの有機物質を溶解する。                      以上3個より2個を記せ。

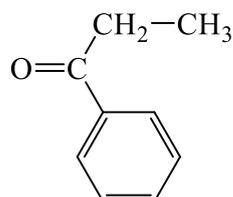
問3 エタノールはヒドロキシ基の部分で分子間水素結合を形成するが、エーテルは分子間水素結合を形成しない。

問4 C<sub>26</sub>H<sub>29</sub>NO

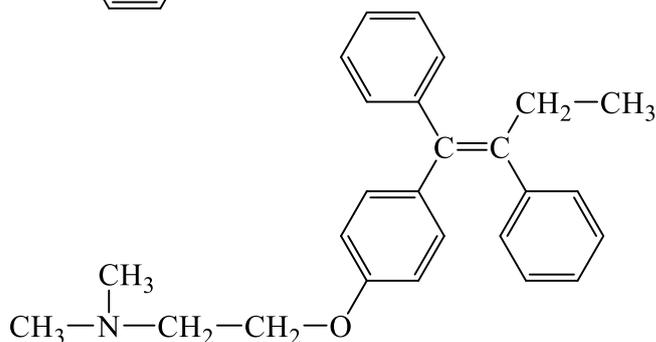
問5



問6



問7



### 講評

大問4題（理科2科目で120分）の論述式。基本的な問題と難度の高めな問題が混在しているのは、日医の化学の特徴である。

すべての大問の間1の穴埋め記入問題は、基本的なものが多いので確実に解答したい。7題ある計算問題は標準レベルなので、合否を分けたのは、5題ある論述問題であろう。字数制限がないので、手際よく書かないと時間が足りなくなってしまう。受験生のレベルを考えても、時間内に全問解くのは厳しい。[IV]の後半の構造式決定では、時間があれば解けたのに…という受験生が多かったはず。手際よくスピーディーに解ければ、例年並みの得点が期待できるであろう。